

### 3-3 神奈川県中部の地震活動（1991年7月20日～24日）

#### On the Earthquake (M5.1) in the Central Part of Kanagawa Prefecture (July 20-24, 1991)

気象庁地震予知情報課

Earthquake Prediction Information Division  
Japan Meteorological Agency

神奈川県中部（平塚市付近）で、1991年7月20日13時43分頃から、地震活動が活発化した。しかし、この活動は夜に入って急速に低下し、24日夜半には終息した（第1図）。24日までに12個の地震の震源が決定された（深さは17～28km）。

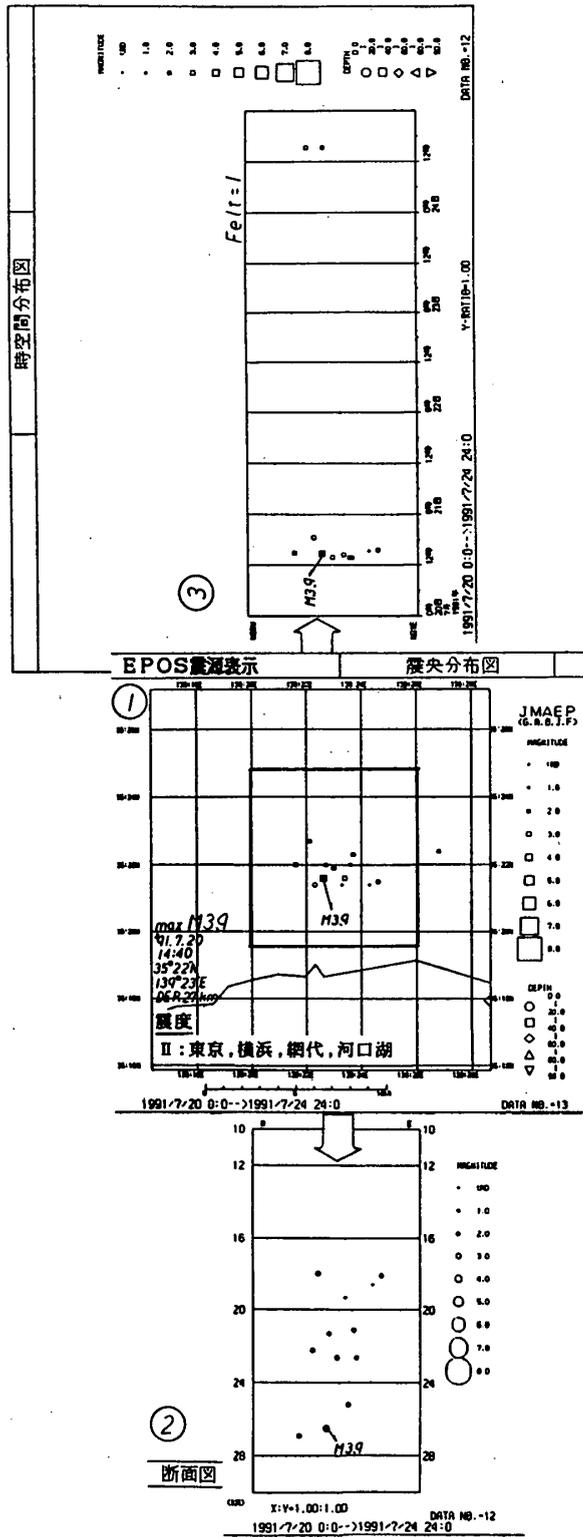
最大地震は7月20日14時40分のM3.9（深さ27km）で、この最大震度は2（東京・横浜・網代・河口湖）であった。有感となった地震はこれ1個のみである。

最大地震のメカニズムは、北西—南東圧縮の横ずれである（第2図）。

この地域では、1988年以降これまでも、今回程度の小活動は年に1～2回発生している（第3図）。しかし、M3を超える地震は年に1回有るか無いかで、1980年1月1日から本年7月24日までに8個である。そして、この期間のMの最大は今回のM3.9で、M4に近いものが発生したことは留意しておく必要がある。また、ここでは1926年以来M5以上の地震は発生していない。

注：1991年6月1日からの資料は暫定。最大地震の再計算結果（最終値）による震源要素は、20日14時40分09.1秒、35°21.6′N・139°22.6′E、M3.9、深さ26.5km。なお、進言決定等には、気象庁のほか、東京大学・名古屋大学・防災科学技術研究所のデータを使用。

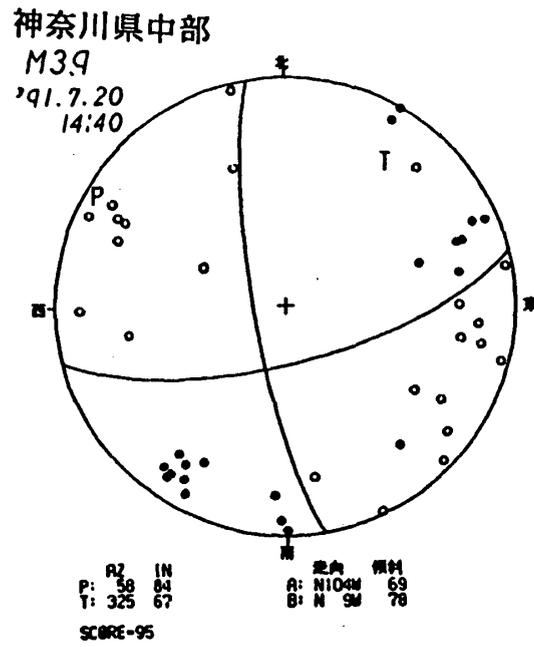
神奈川県中部の地震活動・1991.7.20-24



第1図 神奈川県中部の地震活動 (1991年7月20日~24日)

①: 震央分布, ②: 断面図 (西一東), ③: 時空間分布

Fig. 1 Seismic activity in the central part of Kanagawa Prefecture (Jul. 20 - 24, 1991).  
①: Epicentral distribution, ②: Vertical section of 1 (W-E), ③: Space-time plot.

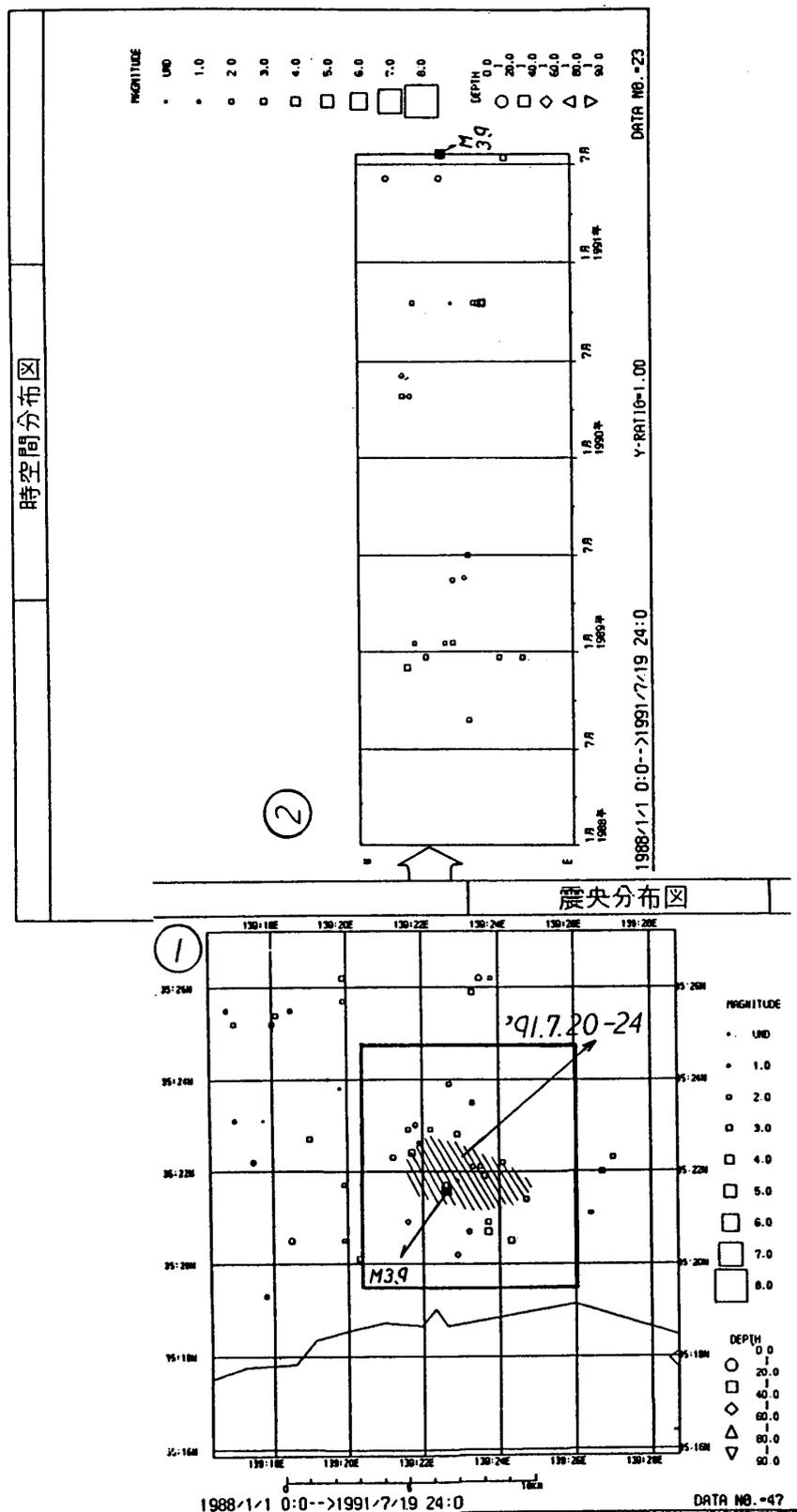


第2図 地震のメカニズム解（上半球投影）

●：押し，○：引き。1991年7月20日・M3.9（最大）

Fig. 2 Focal mechanism solutions (Projected on the upper hemisphere).

●: up, ○: down. Jul. 20, 1991 · M3.9 (max).



第3図 神奈川県中部の地震活動（1988年1月1日～1991年7月19日）  
 ①：震央分布，②：時空間分布

Fig. 3 Seismic activity in the central part of Kanagawa Prefecture (Jan. 1, 1988 – Jul. 19, 1991).  
 ①: Epicentral distribution, ②: Space-time plot.